

ブライダル大手のノバレーゼ、岐阜県初進出
完全貸し切り型の婚礼施設 岐阜市で5/26に開業
岐阜らしさ演出、美濃和紙や岐阜提灯、合掌造りをデザインに採用

婚礼施設・レストラン運営の㈱ノバレーゼ(本社:東京都中央区、荻野洋基社長、資本金:100 百万円)は、貸し切り型(ゲストハウス型)の結婚式場「岐阜モノリス」(岐阜県岐阜市則武中4)を2018年5月26日(土)に開業し、岐阜県に初進出します。

建物は“岐阜らしさ”が特長で、近代美術館のようなモダンで洗練されたデザインながら、内外観に、合掌造りや美濃和紙、岐阜提灯など、地元の伝統美の要素を随所に取り入れます。日本の伝統技術や高い建築デザインを好む20代後半から30代の大人のカップルをターゲットに据えます。

2019年の披露宴実施組数は年間135組を計画しています。一組当たりの平均客単価は380万円前後で、年間(2019年度)5.5億円の売り上げを目指します。

1日昼夜各1組限定、プライベート感の高い結婚式場で、随所に岐阜らしさ

「岐阜モノリス」は岐阜駅から車で10分程の市街地に位置する、1日昼夜各1組限定の、プライベート感の高い、完全貸し切り型の結婚式場です。

約2670平米(806坪)の敷地に、披露宴会場(1F)やラウンジ(1F)、新郎新婦の控え室(2F)を設けた2階建ての披露宴棟と、独立した平屋建てのチャペルを新築します。

敷地内には本格的な日本庭園も設け、しっとり落ち着いた、和の雰囲気演出します。披露宴会場の最大収容人数は着席で110人(約200平米)、チャペルは同90人(約90平米)です。

披露宴棟の建物外観(表玄関側)は全面ガラス張り(高さ約7メートル)で、全体を美濃和紙に見立てたすりガラスのようなデザインにします。夜は館内の照明が和紙風の窓からこぼれ、建物は岐阜提灯のような優しい灯りに包まれます。



表道路に面した披露宴棟。右側の披露宴会場は全面ガラス張り(高さ約7メートル)。美濃和紙風のフィルムを貼ってあり、館内の照明が外におぼろげに光る。岐阜提灯をイメージ

披露宴会場(バンケットルーム)の天井にも美濃和紙に見立てたアクリル素材を使い、長良川の流れをイメージした優美な曲線のアートワークを設置します。

その他、館内には美濃タイルや岐阜和傘、郡上紬(ぐじょうつむぎ)をモチーフにしたデザインを随所に取り入れ、“岐阜らしさ”を表現します。

また独立型のチャペルは、天井高約6メートルの、急こう配な屋根が特長的で、白川郷の合掌造りからインスピレーションを受け、現代風(モダン)にアレンジします。三方がガラス張りで、チャペル内がキラキラと自然光で輝く、採光性の高い造りです。



天井高約6メートルで、鋭角な三角形の屋根が特長のチャペルは、白川郷の合掌造りからインスピレーションを得たデザイン。三方の壁は全面ガラス張りで、水に囲まれており、水盤に浮かんでいるように見えます。祭壇越しには日本庭園が広がる非日常的な空間。日本庭園は、比叡山延暦寺阿弥陀堂の水琴窟庭園や岐阜県の岐阜護国神社の造園などを手掛けた京都の久保造園によるもの



左) 天井高7メートルの広々としたバンケット。天井には長良川の流れをイメージした、曲線が美しい美濃和紙風のアートワークを設けます。壁の側面には大階段を設置、列席者の頭上から入場する印象的な演出が可能。オープンキッチンを併設し、調理シーンも楽しめる。スクリーンは300インチの大型で、迫力ある映像演出ができます

右) 玄関を抜けると天井高6メートルの吹き抜け構造。群上紬の柄をモチーフにした絨毯と岐阜和傘をイメージした照明で列席者をお出迎え

列席者に提供する料理も、飛騨牛や飛騨・美濃伝統野菜など地産地消にこだわり

列席者に提供する料理も地産地消にこだわります。飛騨牛や県が認証する飛騨・美濃伝統野菜を使った料理を提供します。コースは、創作フレンチと和洋折衷のどちらかを選べます。披露宴会場にオープンキッチンを設け、調理シーンもお楽しみいただけます。

岐阜駅周辺は婚礼激戦区、一方で“名古屋婚”の流出組 4 割

ゼクシィの結婚トレンド調査 2017 によると、東海地区(3 県)の結婚式にかかる総額は 356.4 万円と 6 年前より 19.5 万円増えており、全国平均(354.8 万円)を上回る高さです。中でも岐阜県は、総額 300 万～500 万円までの高価格帯に占める割合が全体の 69.7%(愛知 60.9%、三重 57.1%)と高いのが特徴です。

また、約 4 割が県外(主に名古屋)で結婚式を行う、流出率の高い県※でもあり、特に流出組は高品質さを求める 30 代以上が約 26%※、25 歳以上だと 85%※を占めることが分かりました。※当社 2017 年調べ

そんな中、いま岐阜で、ブライダル市場が活況です。2015 年、2016 年と目立った新規出店がなかったものの、2017 年末に、北海道の結婚式運営会社が岐阜県に進出し、既存施設の運営権を取得しながら新規会場(岐阜市正木西町 11)をオープンしています。対して既存施設も相次ぎチャペルなどのリニューアルをするなど、手を打っています。

そんな中、この度、20 代後半から 30 代の大人の女性をターゲットに、高品質なブライダルを展開する当社にとって、出店メリットがあると判断。加えて、既存施設がいわゆる欧米の大聖堂や白亜調の真っ白なお城のような建物ばかりのため、当社のシンプルモダンで都会の洗練されたデザインは他社との差別化を図れると考えました。“岐阜らしさ”を加えた他にはない結婚式場にすることで、他府県への流出層も取り込みたい考えです。

施設概要

施設名	岐阜モノリス	開業日	2018 年 5 月 26 日(土)
住所	岐阜県岐阜市則武中 4-2-2		
交通	JR、名鉄「岐阜駅」北口から車で 12 分		
営業時間	平日:12:00～20:00、土日祝日:10:00～20:00、定休日:祝日を除く火・水曜		
面積	敷地面積:2667.27 m ² (806.85 坪)	延床面積:1264.71 m ² (382.57 坪)	
	バンケット(1F):195.13 m ² (59.03 坪)	チャペル(1F):89.86 m ² (27.18 坪)	
収容人数	バンケット:着席 110 人	チャペル:着席 90 人	
駐車場	31 台	構造	S 造 2 階建て
売上目標	5.5 億円(2019 年度)	目標組数	135 組(2019 年度)
想定客単価	1 組約 380 万円	デザイン	窪田建築都市研究所
電話	058-296-5775(5/15 開設)、058-267-5775(開業準備室)		
H P	produce.novarese.jp/gifu-monolith		

本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:松井

TEL.03-5524-2299 FAX.03-5524-1133

E-mail: t-matsui@novarese.co.jp